

認知症と

ともに生きる

認知症とは

脳の細胞が減少・壊死してしまったり、働きが悪くなったりしたために、さまざまな障害が起こり、日常生活に支障が出てくる病気です。高齢者の増加に伴い、今後、認知症高齢者の数も増加する見込みです。

また、認知症は高齢者だけでなく、働き盛りの若年者でも発症する病気であり、私たちは誰でも認知症になる可能性があります。

認知症は、決して特別な病ではなく、人が老いていく過程で避けては通れないものです。

認知症が社会的な課題となっている今、認知症と共存し、身近な人々が手を取り合い見守っていくという取り組みが、本市でも活発化しています。今月号では、9月の世界アルツハイマー月間にちなみ、さまざまな観点から、認知症に対する理解を深めるために開催される講座などを紹介します。

申し込み
お問い合わせ
28・6147
FAX 28・6059
高齢介護課
地域包括支援センター

認知症になっても安心して暮らせる社会を目指し 認知症について知り、考える活動を行います

○ 本人ミーティング&カフェ

ものの忘れが気になるご本人同士が集い、自らの体験や想いを語り合う場です。

9月は特別に認知症カフェと合同開催です。ゆっくり語り合いましょう。

日 9/21（火）10：00～11：30 場 市民交流棟 2階

定 20名 募 9/17（金）まで



川之江高等学校書道部の作品
高齢介護課（市役所2階）に掲示

○ 認知症にやさしい地域づくり講演会

認知症予防について学んでみませんか。作業療法士による講演と認知症予防体操「しこちゅ～版えひめカンカン体操」のお披露目を行います。一緒に体操しましょう。

日 9/22（水）13：30～15：00

場 福祉会館 4階 多目的ホール

定 50名 募 9/17（金）まで



○ 川之江城オレンジライトアップ

日 9/16（木）～23（木・祝）

場 川之江城

※荒天時は中止となる場合があります



○ 認知症パネル展

認知症にやさしい地域づくりの取り組みを紹介します。

日 9/1（水）～30（木） 場 川之江・三島・土居図書館

日 9/13（月）～29（水） 場 市民交流棟 1階 ロビー



しこちゅ～版えひめカンカン体操のDVD配布

地域の通いの場などで認知症予防体操に取り組んでいただくため、講演会に参加され、体操に取り組みたいという団体の方へDVDをお渡しします。ご希望の団体の方は地域包括支援センターまでお問い合わせください。

本人ミーティングに参加した 認知症の方のご家族の声



高橋さん
（豊岡町）

認知症の妻について、いろいろな方に相談したり、情報交換をしたりする中で、認知症支援に携わる方や、同じ境遇の方と出会うことができ、今に至ります。

認知症は何をしても治らないと言われて不安な時期もありましたが、相談することで気分が楽になりました。

もの忘れなど、認知症の疑いがあれば、地域包括支援センターの職員が自宅を訪問してくれたり、関係機関につなげてくれたりするので、本当に助かります。

相談できる機関があることで、一人でずっと頭を抱えて悩まなくてもいい、辛くて我慢できない時は相談したらいと思うようになり、安心した日々を過ごしています。

現在、妻は毎日楽しくデイサービスを利用しており、役割を持って笑顔で過ごしています。



ステッカー

認知症にやさしい人・お店募集中

認知症に理解のある人やお店を増やし、地域で温かく見守ることで、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指しています。

卓上ミニのぼり

○ 「認知症サポーター養成講座」のご案内

認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やご家族を温かく見守る応援者です。お店や企業などの職域団体や学校などで講座を受講していただくことができます（5名以上）。認知症サポーター養成講座を受講されたお店や企業には、卓上ミニのぼり及びオレンジリングをお渡しします。



オレンジリング

令和2年度講座を受講されたお店・学校

石川ヘルスケアグループ、第一生命保険株式会社
有限会社 川滝運送、郵便局、株式会社 広島銀行
三島高等学校、川之江高等学校、土居高等学校
土居小学校、松柏小学校（敬称略、順不同）

「認知症高齢者探そや！メールサービス」への登録をお願いします！

行方不明となった認知症高齢者が、早期に保護されるように、ご本人の特徴をメール配信しています。



安心してください。 私たちが力になります！

『認知症地域支援ねっとわーく』

「認知症にやさしいまち四国中央」をスローガンとして、認知症支援に携わる関係者が集い、認知症の支援について話し合いながら、さまざまな地域活動を行っています。

大切なのは、認知症の悩みを抱え込まないこと。病気を正しく理解し、適切に対応することが本人と家族の心穏やかな暮らしにつながります。

認知症の人や家族を支える専門職に相談しよう！

『地域包括支援センター』

専門職のチームが医療・介護・福祉・健康などさまざまな面から生活をサポートします。

認知症（疑い含む）の方が必要な医療や介護のサービスが受けられるよう、専門職や専門医がチームとなり、自宅訪問などを通じて今後の対応を一緒に考え、ご本人の生活を支援します。お気軽にご相談ください。

あなたにもできることがある

本市では、行政、医療・福祉機関、企業、個人や団体、ボランティア、NPOなど、さまざまな人たちが連携して、認知症の人とその家族を支える活動をしています。

みなさんも、こうしたネットワークにつながり、できることから支援を始めてみませんか。特別なことをしなくても、ほんの少しの気配りと手助けが、認知症の人や家族が安心して暮らせる一助になります。

一人ひとりの優しい気持ちが集まることで、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくことは可能です。認知症について正しく理解し、本人の心に寄り添った支援の輪を広げていきましょう！